

## 扇森稲荷神社

扇森稲荷神社は竹田市最大の神社であり、九州でも有数の稲荷神社である。稲荷神は稲作に関連しており、豊作をもたらし、地域社会を守護すると信じられている。多くの稲荷神社の慣例として、扇森稲荷は信者から寄進された朱色の鳥居をくぐって参拝する。境内には稲荷の使いとされる大小さまざまな狐の像がある。

1616 年、岡藩主中川久盛（1594-1653）が小さな山腹の祠を設けて以来、この地に神社があった。現在の神社は、久盛の子孫である久昭（1820-1889）が岡藩を治めていた 1800 年代半ばに形作られた。久昭が江戸への旅立ちの際、稲荷の夢を見て刺客を知らせたことから、神への感謝を込めて扇森稲荷を建立したと伝えられている。

新年を迎える数日間は、九州各地から一年の成功と守護を祈願する参拝者で賑わう。それ以外の季節に扇森稲荷を訪れると、より穏やかな気持ちになれる。神社に続く石段の上からは、竹田の町を一望することができる。